



これはゴボウ。ここには何でもあります

鈴木さんは現在、収穫された野菜を近隣のスーパー や J A の直売所で販売されています。

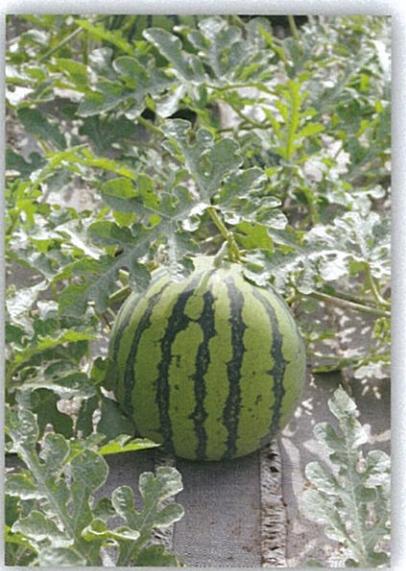
「最近流行の『地場コーナー』があり、生産者の顔が見える販売方法といふことで販売させていただいています。昔は農協の共販出荷をしていましたが、20年くらい前から直売スタイルに取り組み始めました。」

■『地産地消』に取り組む

「春から夏にかけてはブロッコリー や、キュウリ、トマト、ナス、オクラなどの果菜類を中心に栽培しています。栽培している品目は20品目以上になり、一年を通して野菜の収穫がない月はありません。」

「今では地場コーナーで野菜と一緒に、お茶も販売させていただいているところもあります。野菜を栽培した同じ生産者が作ったお茶だということで、購入される方もいると聞いています。お茶と野菜を同時に栽培することは苦労も多いのですが、こんなメリットもあります。」

「この地域は昔にくらべたら人口もスーパーも増えました。そういう変化の中でもものが速く届くスタイルの販売方法に取り組んでいます。『地産地消』という考え方です。自分専用の棚がある以上、一日も棚を空けるわけにはいきません。」



■日々、自分で畠に入り畠の調子を見極める



秋ナスは嫁に食わすな

野菜に千代田化成 効き目は“ズバッ！グーン！！”

現地レポート
埼玉県三芳町



今回ご出演いただいた鈴木さんは、埼玉県三芳町の「三富新田(右の写真)」と呼ばれている地域にお住まいでお茶、野菜を合わせて6ヘクタール栽培されています。ご自宅の敷地内にすべての畠があり、また、お茶も野菜もほとんどすべて地元で販売されています。作物に対する千代田化成の効果や、栽培に対する思いをお伺いました。



サンアグロ
SUN AGRO CO., LTD. . .



7月に咲く花。何の花か、分かりますか？

「一番茶と二番茶の製造時期だけは、野菜の収穫量を減らすようにしてています。野菜でも寝る間を惜しんで作業することもありますが、スーパーの売場を空けてしまうわけにはいかないので、そこは努力を積み重ねていくしかないと思っています。」

■野菜の栽培品目は20以上

■千代田化成の効果は“ズバッ！グーン！！”

鈴木さんのお宅は元々野菜を栽培されていて、お爺様の代からお茶栽培を始められたそうです。今では野菜とお茶をそれぞれ3ヘクタール栽培されています。

「お茶で千代田化成を使って非常に溶けやすく、とても効き目がありそうになりました。今では特にキュウリとナスも使うようになつたそうです。

「お茶で千代田化成を使つて非常に溶けやすく、とても効き目がありそうだと、野菜にも使うようになります。」

「畠間に手や施肥機を使つて施肥します。」

「お茶で千代田化成を使つて非常に溶けやすく、とても効き目がありそうだと、野菜にも使うようになります。」

「うちはすべての畠に井戸水の配管が設置されているため、どの畠でもすぐ散水することができます。千代田化成を水に溶かして使う方法があると聞いていますが、施肥後すぐに散水できるため、うちでは水に溶かして使つたことはありません。」

「千代田化成の効き方は『ズバッ！グーン！』という感じです。施肥してすぐに『ズバッ！』っと効いて、作物が『グーン！』と伸びる。まさに千代田化成の効き方については、お仲間たちとこんな言い方をされているそうです。」

「千代田化成の効き方は『ズバッ！グーン！』という感じです。施肥してすぐに『ズバッ！』っと効いて、作物が『グーン！』と伸びる。まさに千代田化成の効き方は『ズバッ！グーン！』という感じです。でも鈴木さんは当たり前のように実現されると、『早く行うは難し』。でも鈴木さんは、『どうございました。』